

2025年1月22日

観光×交通、そして地域活性化へ ～「公共交通シンポジウム」を対面&WEB同時配信にて開催～

2022年10月の水際措置の緩和以降、観光需要が順調な回復を見せている中で、地域活性化・地域の魅力発信のためにも、観光客も含めた公共交通の利用促進や、交通結節点からの二次交通の確保・充実に向けた取組みなど、観光と交通の連携による施策・取組みが重要です。

本シンポジウムでは、九州管内の事例紹介やパネルディスカッションでの議論を通じて、観光と交通の連携、そして当該連携による地域活性化に向けた今後の方向性・方策について考えます。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

記

【開催概要】

「2024年度 公共交通シンポジウム in 九州」

テーマ：観光×交通、そして地域活性化へ

開催日時：2025年2月26日（水）13：00～17：10

プログラム：別紙のとおり

参加料：無料（※シンポジウム後の交流会にご参加の方は会費3千円）

申込方法：以下の九州運輸局ホームページからご確認ください。

申込締切：対面参加は **2025年2月17日（月）まで**

WEB参加は **2025年2月21日（金）まで**

その他：パンフレット等詳細はホームページに掲載

九州運輸局HP

https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file26-3_00011.html

運輸と観光で九州の元気を創ります

＜お問合せ先＞

国土交通省 九州運輸局 交通政策部 交通企画課

担当：井上、本田、白谷

TEL：092-472-2315

E-mail：qst-kotsukikaku【at】gxb.mlit.go.jp

（【at】は@に置き換えて下さい）



九州運輸局

観光×交通、 そして地域活性化へ

開催趣旨

2022年10月の水際措置の緩和以降、観光需要が順調な回復を見せている中で、地域活性化・地域の魅力発信のためにも、観光客も含めた公共交通の利用促進や、交通結節点からの二次交通の確保・充実にに向けた取り組みなど、観光と交通の連携による施策・取り組みが重要です。

本シンポジウムでは、九州管内の事例紹介やパネルディスカッションでの議論を通じて、観光と交通の連携、そして当該連携による地域活性化に向けた今後の方向性・方策について考えます。

日時

2025.2.26(水)

13:00~17:10

会場

西鉄イン福岡 2F 大ホール
(福岡市中央区天神1-16-1)

開催方法

対面・WEB同時開催

※定員：対面 100名
WEB同時配信 300名

プログラム

13:00~ 開会挨拶

原田 修吾(九州運輸局長)

13:05~ 国土交通省からの情報提供

▶九州における観光・交通の現状と施策について(仮)

鈴木 貴大(九州運輸局 交通政策部 交通企画課)

▶これからのまちづくり(仮)

中村 大志(九州地方整備局 建政部 都市整備課)

13:35~ 基調講演

▶九州の観光活性化のために期待したい公共交通政策(仮)

清水 哲夫氏(東京都立大学 都市環境学部観光科学科 教授)

14:30~ 事例紹介

▶九州MaaS

~共創による地域交通づくりと観光活性化の取り組み~

木下 貴友氏(一社)九州MaaS協議会 事務局長)

▶日田彦山線BRTひこぼしラインの開業および取り組み

西羅 悠平氏(九州旅客鉄道(株) 鉄道事業本部営業部
BRT企画運営グループリーダー)

▶交通結節点からの新たな二次交通の確保について

西田 雄哉氏(八代市 総務企画部地域政策課 主任)

15:45~ パネルディスカッション

【パネリスト】

清水教授、木下事務局長、
西羅グループリーダー、西田主任、
傳 勝博(九州運輸局 交通政策部長)、
判田 乾一(九州地方整備局 建政部長)

【コーディネーター】

大井 尚司氏(大分大学 経済学部門 教授)

17:05~ 閉会挨拶

久保田 誉(九州地方整備局 副局長)

17:20~18:50 交流会

@西鉄イン福岡 13F 食事会場

シンポジウム閉会后に会場を移して、立食形式の交流会を開催いたします。(会費3,000円)
参加ご希望の方は、シンポジウムの参加申込みと併せて以下のQRコードからお申し込みください。



【共催】九州運輸局、九州地方整備局
【事務局】九州運輸局交通企画課
(TEL:092-472-2315)

参加申込
はこちら

<九州運輸局HP>

https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file26-3_00011.html

【申込締切】対面参加：2月17日(月)
WEB参加：2月21日(金)



2024年度 公共交通シンポジウムin九州 観光×交通、そして地域活性化へ

登壇者プロフィール(登壇順)



清水 哲夫 氏 東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授

1993年東京工業大学(現 東京科学大学)工学部土木工学科卒業、1995年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻修了、2002年に東京工業大学から博士(工学)授与。2011年より首都大学東京(2020年に東京都立大学に名称変更)大学院都市環境科学研究科教授に就任。

研究分野は交通学および観光政策・計画学で、特にIntelligent Transport System、観光・交通行動分析等を主要な研究課題としている。2010年に「観光統計を活用した実証分析に関する論文表彰」で観光庁長官賞を受賞。(公社)日本観光振興協会総合調査研究所所長兼日本観光振興アカデミー学長や官公庁・自治体の専門委員会でも委員等を多数歴任。



木下 貴友 氏 (一社)九州MaaS協議会 事務局長

民間交通事業者でデジタルマーケティング、DX戦略の策定、モビリティサービス関連の事業に従事後、2023年4月(一社)九州経済連合会地域共創部に出向。九州MaaS実行組織の設立準備を担当。

2024年4月、一般社団法人九州MaaS協議会設立時に同協議会事務局長に就任。現在、同協議会会員の各県・事業者等と連携し、九州MaaSに関連する各種事業を推進。



西羅 悠平 氏 九州旅客鉄道(株) 鉄道事業本部営業部
BRT企画運営グループリーダー

2006年九州旅客鉄道(JR九州)入社。鉄道現業部門、鹿児島支社を経て、本社営業部で駅設備や、訪日外国人向け駅ナンバリング導入等の業務に従事。2020年 日田彦山線添田～夜明・日田間のBRT復旧決定にあたり、現職にてBRTの基本計画からコンセプトの策定、全体のサービスデザイン構築など開業準備業務を担当。2023年8月の開業後はBRT全般の運営業務に従事。



西田 雄哉 氏 八代市 総務企画部地域政策課 主任

1986年熊本県八代市生まれ。2015年八代市役所入庁。入庁から3年目までは消防・防災関連業務に従事し、H28熊本地震を経験。入庁4年目から2年間九州運輸局交通政策部交通企画課へ出向し、2020年公共交通担当として帰任。帰任後は九州運輸局で鍛えられた経験を活かし、現行の地域公共交通計画を策定し、主に路線バス・乗合タクシーの確保維持、公共交通全体の活性化に向けて各種施策に取り組んでいる。現在は次期計画を策定中。



大井 尚司 氏 大分大学 経済学部門 教授

1996年熊本大学卒業後、旅行会社勤務を経て2007年神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、(一財)運輸政策研究機構運輸政策研究所(現・運輸総合研究所)研究員を経て現職。専門は地域交通計画、観光など。九州各地で地域公共交通の確保維持に携わるほか、研修講師等も多数歴任。2010年から地域交通の勉強会「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu(Qサポネット)」を運営(代表)。

2023年より国土交通省交通政策審議会委員・社会資本整備審議会臨時委員に就任。